

Gsender プラグインマニュアル

2023 年 5 月 15 日

あかざわ工房合同会社

<https://www.akazawa.org>

Gsender プラグインは、Gmail または Google Workspace を使って kintone アプリからメールを送信するためのプラグインです。（以下 Gmail とだけ書いてあっても **Google Workspace** にも適用されます）

利用にあたっての前提条件

- 本マニュアルの説明ならびにスクリーンショットは、2023 年 5 月時点のものです。
- 利用者は kintone ならびに web ブラウザの操作について習熟しているものとします。
- 利用者は Gmail あるいは Google Workspace の利用方法について習熟しているものとします。

目次

利用にあたっての前提条件	1
1. 概要（できること）	4
[1] 一斉メール送信	4
[2] 個別メール送信	5
2. 特徴	6
3. 始め方	7
4. 重要事項	8
[1] 必要なもの	8
[2] 必要なこと	8
[3] 評価版と実用版	9
[4] ご留意事項	10

5. クライアント ID の取得方法	11
[1]Google Cloud の管理画面にアクセスする.....	11
[2]プロジェクトの作成.....	11
[3]Gmail API の有効化.....	12
[4]認証情報の作成.....	14
[5]アプリを公開する.....	19
6. メールテンプレートアプリの作成	22
7. プラグインの設定	23
[1]「OAuth クライアント ID」の入力.....	23
[2]暗号化キー.....	23
[3]宛先メールアドレスが保存されているフィールドを指定.....	23
[4]メールテンプレートアプリに関する設定.....	24
[5]添付ファイルを保存してあるフィールドを指定.....	24
[6]ライセンスコード.....	25
[7]設定を保存する.....	25
8. メールの送信準備 1	26
[1]Google Chrome の場合.....	26
[2]Mozilla Firefox の場合.....	29
[3]Apple Safari の場合.....	31
[4]Microsoft Edge の場合.....	32
9. メールの送信準備 2	34
10. メールの送信方法	35
[1]一覧画面または詳細画面からの送信（初回以外の送信）.....	35

[2]初めて Gsender でメールを送信する場合の操作.....	39
11. よくある質問	41
[1]機能.....	41
メールの送信数に制限はありますか。.....	41
Gmail(または Google Workspace)の「セキュリティ診断」で「危険性の高いデータのアクセスの削除」が表示されます。これは削除してよいですか。.....	41
どの web ブラウザで利用できますか。.....	42
スマートフォンの kintone アプリで利用できますか。.....	42
評価版プラグインの利用にあたりサポートしてもらえますか。.....	42
同じ内容のメールを再送信できませんでした。バグがあるのではなんでしょうか。.....	42
[2]注文	42
請求書を発行してくれますか。その後、銀行振込で購入できますか。.....	42
[3]利用規約関連	42
Gsender プラグインを1個購入しました。複数のアプリに追加して使っていいですか。.....	42
Gsender プラグインを1個購入しました。複数の kintone サイト(異なるサブドメイン名)で使っていいですか。.....	43
Gsender プラグインはもう利用しません。他の人に譲ってもいいでしょうか。.....	43
Gsender プラグインを購入しましたが、目的と違っていましたので使いません。返金して欲しいのですが。.....	43
[4]サポート	43
クライアント ID の取得の仕方がわかりません。サポートしてもらえますか。.....	43
kintone のアップデートに対応して、プラグインを無償でアップデートしてくれますか。.....	43
Gmail や Google Workspace の仕様変更により、プラグインが使えなくなることがありますか。また無償でアップデート対応してもらえませんか。.....	44
Gmail や Google Workspace のサポートをして欲しいのですが。.....	44
kintone の利用についてサポートしてもらえますか。.....	44
[5]その他.....	44
送信したメールが相手先で迷惑メール扱いになっています。どうしたらよいでしょうか。.....	44

1. 概要（できること）

[1] 一斉メール送信

kintone アプリ（例えば顧客管理アプリ）の一覧画面で、各レコードに入力されているメールアドレス宛に、一斉にメールを送信できます。To: Cc: Bcc: 欄にメールアドレスを列挙する形ではなく、個々の顧客宛に個別に順次送信するようにしています。このため、他の顧客にメールアドレスが知られることはありませんが、送信が完了するまで時間がかかります。



組織選択	グループ選択	担当者	案件内容	作成日時	顧客メールアドレス
本部	Everyone	府中花子	老舗の和菓子屋さんです。他品	2018-06-25 0:25	yatosh@example.jp
本部	Everyone	武蔵一郎	9月締めのため、10月から打合	2018-03-04 13:50	akaz@example.com
本部	くらやみ	府中花子	ソフトウェア開発会社の工数管	2018-01-24 16:02	yatosh@example.jp

《操作方法》 kintone アプリの一覧画面で①～③の順で操作してください。

- ① 一覧を選ぶ。（一覧画面で絞り込んだレコードが送信対象です）
- ② テンプレートを指定する。
- ③ 「Gmail から送信」 ボタンをクリックする。

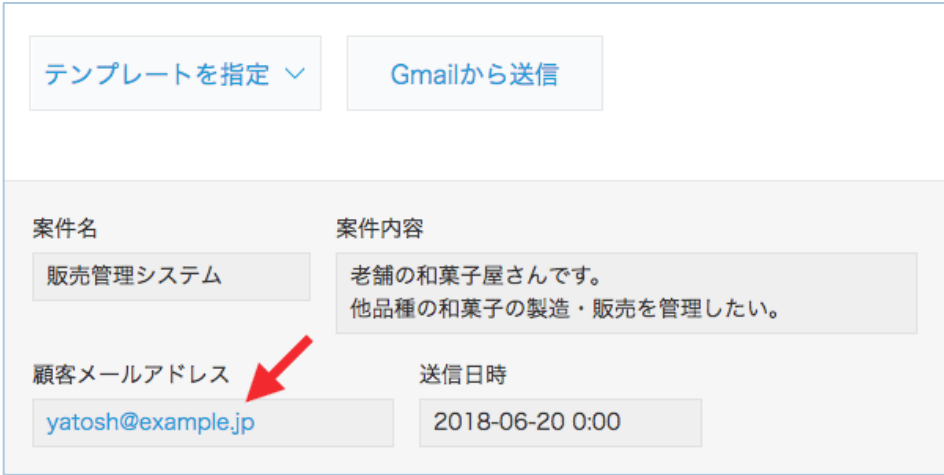


組織選択	グループ選択	担当者	案件内容	作成日時	顧客メールアドレス
本部	Everyone	府中花子	老舗の和菓子屋さんです。他品	2018-06-25 0:25	yatosh@example.jp
本部	Everyone	武蔵一郎	9月締めのため、10月から打合	2018-03-04 13:50	akaz@example.com
本部	くらやみ	府中花子	ソフトウェア開発会社の工数管	2018-01-24 16:02	yatosh@example.jp

[2]個別メール送信

kintone アプリの詳細画面で、個別にメールを送ることもできます。次のように操作します。

- ① 「テンプレートを指定」ドロップダウンメニューでテンプレートを指定する。
- ② 「Gmail から送信」ボタンをクリックする。



テンプレートを指定 ▼		Gmailから送信	
案件名	案件内容		
販売管理システム	老舗の和菓子屋さんです。 他品種の和菓子の製造・販売を管理したい。		
顧客メールアドレス	送信日時		
yatosh@example.jp	2018-06-20 0:00		

2. 特徴

(1)kintone アプリの一覧画面で絞り込み機能を使い、絞り込んだレコードだけがメールの送信対象となります。

(2)予めメールテンプレートを作成しておきます。このためメールを送信する時はタイトルや文章を考える必要がなくすぐに送信できます。

(3)メールテンプレートには、kintone アプリのレコードの内容を埋め込めます。

- 送信相手に合わせたメール内容にできます。
- メールテンプレート作成するためのアプリは以下のような形式で作ります（後述）。

Gsender メールテンプレート

テンプレート名 * 状態 * 有効 無効

表示順 ◀メールを送信するアプリの「テンプレートの選択」ドロップダウンで昇順で並びます。

▼メール

- 送信アプリのフィールドコードを「%」で囲むと、送信アプリのフィールドの内容を差し込めます。
- 「%」そのものを表示させたいときは「%%」と書いてください。

タイトル

本文

3. 始め方

- (1) 「4. 重要事項」を読み、内容について承諾してください。
- (2) 弊社サイトに記載の「kintone プラグイン利用規約」を読み、内容について承諾してください。
- (3) Gsender 評価版（プラグイン）を弊社サイトからダウンロードします。
 - 評価版をアプリに追加し、使用方法や機能を十分に確認してください。
- (4) Gsender 実用版（プラグイン）を弊社サイトからダウンロードします（※）。
 - 評価版プラグインでの設定は実用版プラグインに引き継がれます。
 - 初めのうちは試験的に運用し、トラブルの無いことを確認してください。

※本マニュアル作成時点では、実用版は弊社顧客にのみ提供しており一般向けはございませんが、もしご興味があればお問合せください。

4. 重要事項

[1] 必要なもの

- (1) Gmail または Google Workspace アカウント。
- (2) Gmail で、「OAuth クライアント ID (以下、**クライアント ID**)」を取得する必要があります。複数の Gmail アカウントを使っている場合でも、クライアント ID は代表してどれか 1 個の Gmail アカウントで取得すれば、他の Gmail アカウントでは取得不要です。
※詳しくは「**5. クライアント ID の取得方法**」を参照。
- (3) kintone のスタンダードコース。

[2] 必要なこと

- (1) アプリ管理者による設定
 - クライアント ID をセットする。
 - 宛先メールアドレスが保存されているフィールドを指定する。
 - メールテンプレートを作成するためのアプリを作る。
 - メールテンプレートを作成するためのアプリに関する設定をする。
→「**6. メールテンプレートアプリの作成**」と「**7. プラグインの設定**」を参照。
- (2) アプリ利用者による作業 (全て、同一の web ブラウザで行います)
 - ポップアップ画面を許可する。(初回のみ必要な作業)
→「**8. メール送信の準備 1**」を参照。
 - Gmail へログインする。クライアント ID を取得した Gmail アカウントでなくてもよいです。
→「**9. メール送信の準備 2**」を参照。
 - kintone アプリでメールを送信する。
→「**10. メール送信の方法**」を参照。

[3] 評価版と実用版

評価版と実用版があり、両者の違いは以下のとおりです。随時変更することがあります。

	評価版	実用版
料金	無料	有料（金額／購入方法は弊社公式サイトで案内します）
一覧画面での一斉送信	複数ページとなっている場合、各ページごとに送信操作が必要	一覧画面が複数ページになっていても、全ページのメールアドレス宛に送信可
一覧画面の1回の操作で送信できるメール数	最大 20 宛先	最大 100 宛先
テンプレート数	3 個まで（テンプレートアプリで設定した表示順位が上位 3 個から選択可）	無制限
添付ファイル	非対応	対応
試用版である旨の表示	一覧画面を表示したときに表示	非表示
ライセンスコード	不要	必要
サポート	無し (有償で対応可)	メールまたは Zoom で対応。 購入後 1 年間。

- ✓ kintone または Gmail 側の上限の方が厳しい場合、それぞれの側の上限が優先されます。
- ✓ サポートの内容は Gsender プラグインに関するものに限定しています。kintone などの使い方などは利用者にて対応してください（有料での対応はできます）。
- ✓ 本マニュアル作成時点では、実用版は弊社顧客にのみ提供しており一般向けはございませんが、もしご興味があればお問合せください。

[4]ご留意事項

- (1) 実用版をひとたびダウンロードされますと、いかなる理由があっても返金できません。
- (2) kintone スマホアプリには対応していません。
- (3) 事前に弊社サイトに記載の「kintone プラグイン利用規約」をよくお読みになり、その内容についてご了承ください。 <https://www.akazawa.org> → 「プラグイン」
- (4) kintone の利用規約ならびに Gmail/Google Workspace の利用規約を遵守してください。一部でも遵守できない場合は、本プラグイン利用を禁止いたします。
- (5) kintone はスタンダードコースでの契約が必要です。
- (6) kintone では、1日あたりの API アクセス回数等の上限が設けられております（詳しくは kintone サイトにてご確認ください）。
- (7) Gmail/Google Workspace では、1日あたりのメール送信数などに上限が設けられております（詳しくは Gmail/Google Workspace の公式サイトにてご確認ください）。
- (8) 他社製プラグインとの併用による動作は保証できません。
- (9) kintone アプリがプログラムを用いてカスタマイズされている場合、本プラグインの動作は保証できません。
- (10) Internet Explorer あるいはその互換モードには対応していません。kintone が対応している web ブラウザをご利用ください。
- (11) 実用版は、1サイト（kintone 1件の契約）ごとに1個のプラグインをご購入ください。
- (12) 実用版を利用しなくなった場合でも、他者に譲渡したり販売することは禁止します。
- (13) 実用版では、利用中のサイト URL を自動的に取得することがあります。

5. クライアント ID の取得方法

「プラグインの設定」で必要となりますので、以下の手順で Gmail（または Google Workspace）で、クライアント ID を取得してください。

- ✓ 手順や画面は 2023 年 5 月 1 日時点のものです。今後、変わることがあります。
- ✓ 手順に支障のない範囲で新旧のスクリーンショットが混在することがあり、映り込んでいるアカウント名などが異なる場合があります。

[1] Google Cloud の管理画面にアクセスする

(1) web ブラウザで <https://console.developers.google.com> にアクセスする。

(2) Gmail アドレスとパスワードを順に入力する。



[2] プロジェクトの作成

(1) 「有効な API とサービス」画面で「プロジェクトを作成」リンクをクリックする。



- (2) プロジェクト名を適当に付けて（以下ではデフォルトのままとした）
「作成」ボタンをクリックする。

Google Cloud

スラッシュ (/) を使用してリソース、ドキュメント、プ...

新しいプロジェクト

⚠️ 割り当て内の残りのプロジェクト数は 11 projects 件です。プロジェクトの増加をリクエストするか、プロジェクトを削除してください。 [詳細](#)

[MANAGE QUOTAS](#)

プロジェクト名 *
My Project 74700

プロジェクト ID: optimistic-yew-385804。後で変更することはできません。 [編集](#)

場所 *
 [参照](#)

親組織またはフォルダ

[3] Gmail API の有効化

- (1) 「+API とサービスの有効化」リンクをクリックする。

Google Cloud

My Project 74700

API とサービス

API とサービス [+ API とサービスの有効化](#)

有効な API とサービス

ライブラリ

認証情報

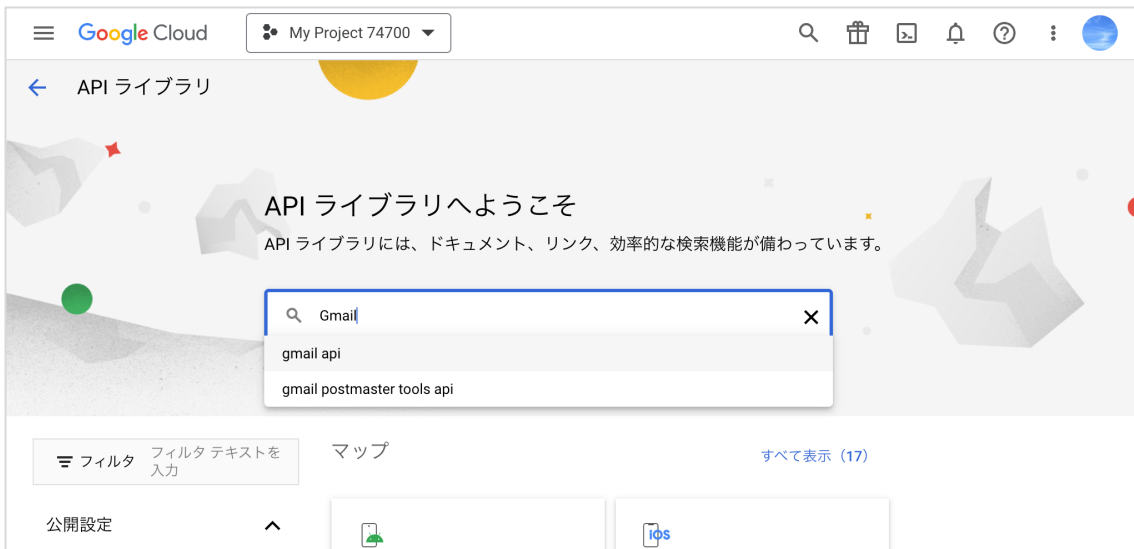
OAuth 同意画面

ページの使用に関する契約

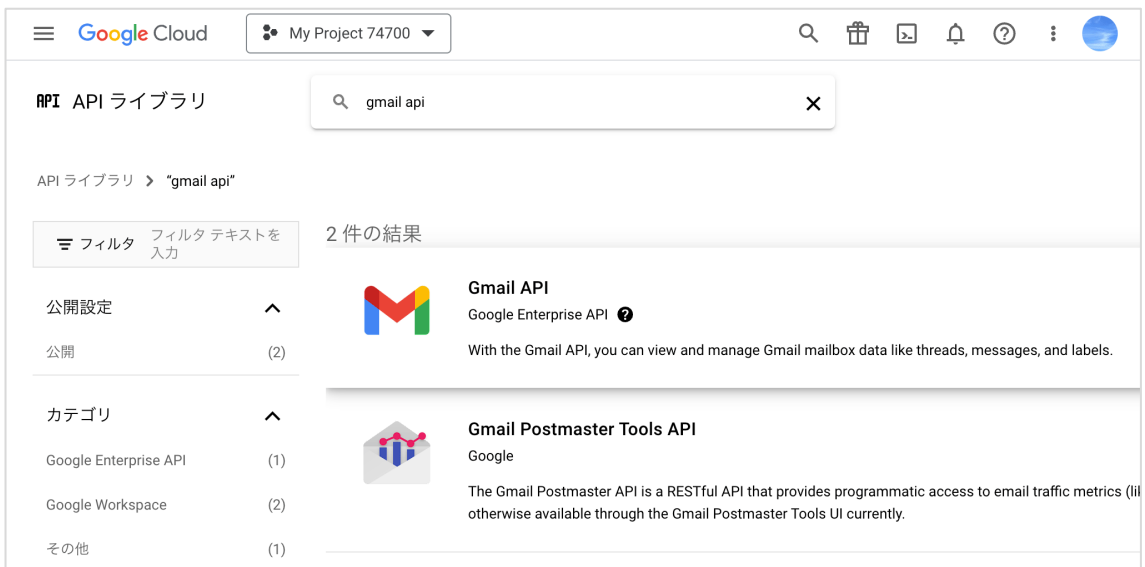
1時間 6時間 12時間 1日 2日 4日 7日 14日 30日

トラフィック

(2) 検索窓に「Gmail」と入力し、表示された「gmail api」をクリックする。



(3) 「Gmail API」の帯状の箇所をクリック → 「有効にする」ボタンをクリックする。



[4] 認証情報の作成

(1) 「認証情報を作成」ボタンが表示されるのでクリックする。

(2) 「API を選択」で「Gmail API」が選ばれていることを確認 → 「ユーザーデータ」を選ぶ → 「次へ」とクリックする。

- (3) 「OAuth 同意画面」では「アプリ名」を後で見ても意味がわかるように適当に入力する。
「ユーザーサポートメール」と「開発者の連絡先情報」に自分の Gmail アドレスを入力する。→「保存して次へ」

Google Cloud My Project 74700 スラッシュ (/) を使用して... 検索

API とサービス

有効な API とサービス
ライブラリ
認証情報
OAuth 同意画面
ページの使用に関する契約

認証情報の作成

1 認証情報の種類

2 OAuth 同意画面

アプリ情報

この情報は同意画面に表示されるため、開発者のユーザー情報と開発者への問い合わせ方法をエンドユーザーが把握できます。

アプリ名*
Gsenderプラグイン
同意を求めるアプリの名前

ユーザー サポートメール*
@gmail.com
ユーザーが同意に関して問い合わせるために使用

アプリのロゴ

これがお客様のロゴです。このロゴは、ユーザーがアプリを認識できるように、OAuth 同意画面に表示されます。
ロゴをアップロードした後に、アプリを送信して確認を受ける必要があります。
ただし、アプリが内部でのみ使用するように構成されている場合や、アプリの公開ステータスが「テスト中」の場合は、送信は不要です。[詳細](#)

アップロードするロゴファイル [参照](#)

ユーザーがアプリを認識できるように、同意画面に 1 MB 以下の画像をアップロードします。使用できる画像形式は、JPG、PNG、BMP です。最適な結果を得るには、ロゴを 120 x 120 ピクセルの正方形にすることをおすすめします。

開発者の連絡先情報

メールアドレス*
@gmail.com

これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするために使用します。

保存して次へ

(4) 「スコープ」では何も入力せずに「保存して次へ」をクリックする。

The screenshot shows the Google Cloud console interface for creating authentication information. The left sidebar is titled 'API とサービス' and includes options like '有効な API とサービス', 'ライブラリ', '認証情報' (selected), 'OAuth 同意画面', and 'ページの使用に関する契約'. The main content area is titled '認証情報の作成' and shows step 3 'スコープ (省略可)'. A tip indicates that scopes can be selected during app registration. A description explains that scopes define permissions for the app's user and that specific types of private user data access are possible. A button 'スコープを追加または削除' is present. Below, three sections are shown: '非機密のスコープ', '機密性の高いスコープ', and '制限付きのスコープ'. Each section has a table with columns 'API ↑', '範囲', and 'ユーザー向けの説明', but all tables are empty with the text '表示する行がありません'. A '保存して次へ' button is at the bottom.

Google Cloud My Project 74700 スラッシュ (/) を使用して... 検索

API とサービス

有効な API とサービス

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ページの使用に関する契約

3 スコープ (省略可)

アプリの登録時にスコープを選択することもできます。

スコープとは、アプリのユーザーに許可を求める権限を表します。スコープを定めることで、プロジェクトからユーザーの Google アカウントにある特定の種類のプライベートなユーザーデータへのアクセスが可能になります。 [詳細](#)

スコープを追加または削除

非機密のスコープ

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

機密性の高いスコープ

機密性の高いスコープとは、プライベート ユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

制限付きのスコープ

制限付きのスコープとは、機密性の高いユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

保存して次へ

(5) 「OAuth クライアント ID」では「アプリケーションの種類」として「ウェブアプリケーション」を選択する → 「名前」には後で見て意味がわかるように入力する → 「承認済みの JavaScript 生成元」で「+URI を追加」ボタンをクリックし「URI 1」として、Gsender プラグインを使う kintone のサイト URL を入力する（例 <https://xxxxx.cybozu.com>） → 「作成」ボタンをクリックする。

✓ 「この設定が有効になるまで数分～数時間かかる」と表示されるが、(6)以降の設定はそのまま続行できる。

Google Cloud My Project 74700 スラッシュ (/) を使用して... 検索

API API とサービス 認証情報の作成

有効な API とサービス
ライブラリ
認証情報
OAuth 同意画面
ページの使用に関する契約

4 OAuth クライアント ID

クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。OAuth クライアントの種類の詳細 [詳細](#)

アプリケーションの種類 *
ウェブアプリケーション

名前 *
Gmail送信用クライアント

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

1 下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面に承認済みドメイン](#)として自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元

ブラウザからのリクエストに使用します

URI 1 *
<https://xxxxx.cybozu.com>

+ URI を追加

承認済みのリダイレクト URI

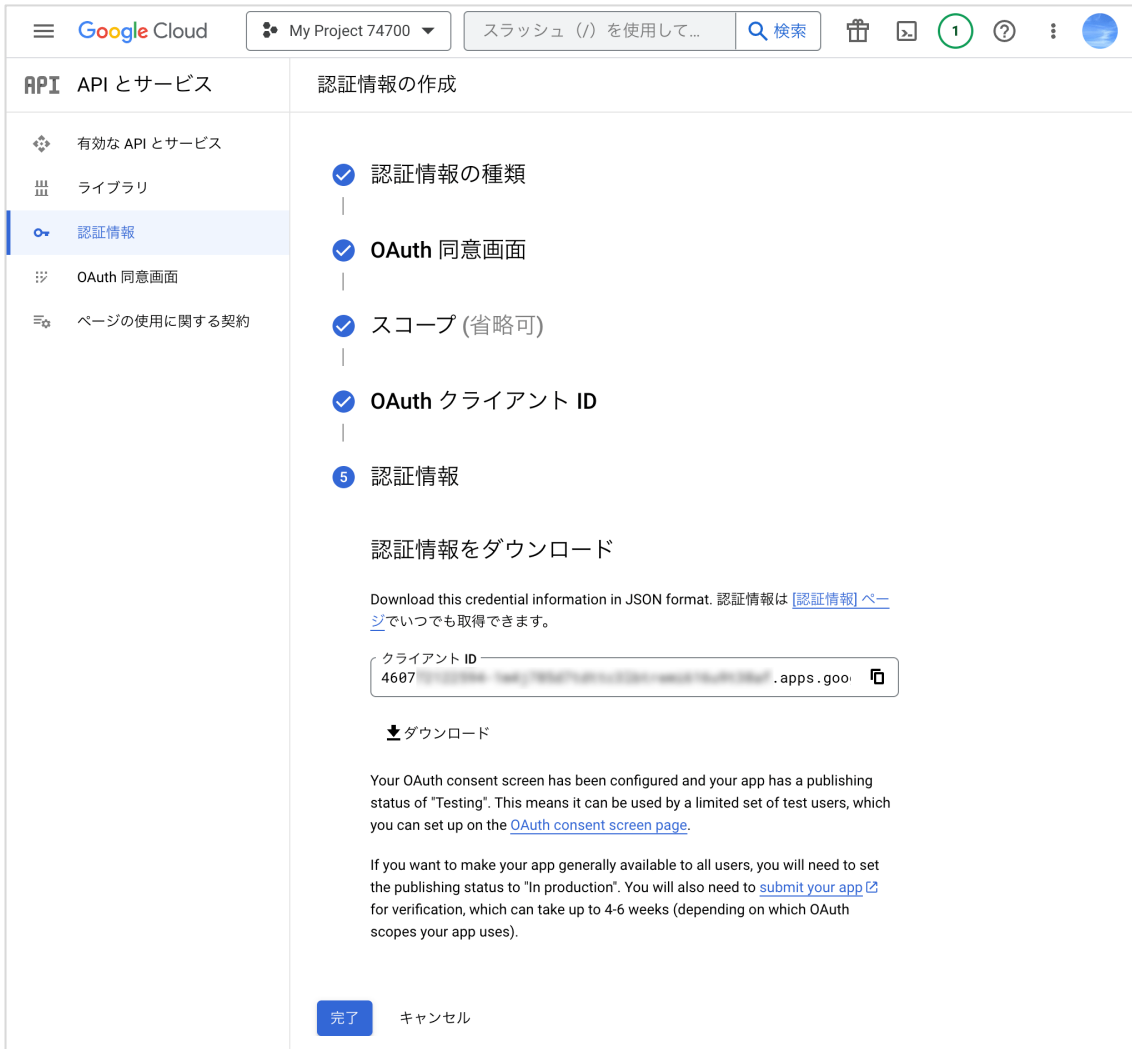
ウェブサーバーからのリクエストに使用します

+ URI を追加

注: 設定が有効になるまで 5 分から数時間かかることがあります

作成 キャンセル

(6) 「クライアント ID」 枠内にクライアント ID が表示される → 右端のコピーアイコンをクリックしてコピーする（後でプラグインにセットする。(7)でもコピーできる） → 「完了」 ボタンをクリックする。



Google Cloud My Project 74700 スラッシュ (/) を使用して... 検索

API API とサービス 認証情報の作成

有効な API とサービス
ライブラリ
認証情報
OAuth 同意画面
ページの使用に関する契約

認証情報の種類
OAuth 同意画面
スコープ (省略可)
OAuth クライアント ID
認証情報

認証情報をダウンロード

Download this credential information in JSON format. 認証情報は [\[認証情報\] ページ](#) でいつでも取得できます。

クライアント ID
4607 [コピー]

ダウンロード

Your OAuth consent screen has been configured and your app has a publishing status of "Testing". This means it can be used by a limited set of test users, which you can set up on the [OAuth consent screen page](#).

If you want to make your app generally available to all users, you will need to set the publishing status to "In production". You will also need to [submit your app](#) for verification, which can take up to 4-6 weeks (depending on which OAuth scopes your app uses).

完了 キャンセル



Google Cloud My Project 74700 スラッシュ (/) を使用して... 検索

API API とサービス < API / サービスの詳細 API を無効にする

有効な API とサービス
ライブラリ
認証情報
OAuth 同意画面
ページの使用に関する契約

Gmail API
The Gmail API lets you view and manage Gmail mailbox data like threads, messages, and labels.
所有者: Google Enterprise API

サービス名	タイプ	ステータス
gmail.googleapis.com	公開 API	有効

OVERVIEW QUICKSTARTS

(7) クライアント ID は「認証情報」→「OAuth 2.0 クライアント ID」欄でいつでも参照可能。

The screenshot shows the Google Cloud console interface. The left sidebar is expanded to 'API and Services' > 'Authentication' > 'OAuth 2.0 Client IDs'. The main content area shows a table of client IDs. One client ID is listed with the name 'Gmail送信用クライアント' and a client ID of '4607...'. A button 'OAuth クライアントをコピー' is visible below the table.

名前	作成日 ↓	種類	クライアント ID	操作
Gmail送信用クライアント	2023/05/05	ウェブアプリ セッション	4607...	編集 削除 ダウンロード

[5] アプリを公開する

(1) 「OAuth 同意画面」を見ると [公開ステータス] が「テスト」となっている。→ 「アプリを公開」ボタンをクリックする。

The screenshot shows the Google Cloud console interface for the 'Gsenderプラグイン' OAuth consent screen. The '公開ステータス' (Public status) is set to 'テスト' (Test). A button 'アプリを公開' (Publish app) is visible. Below, the 'ユーザーの種類' (User types) section shows '外部' (External) selected and '内部へ' (Internal) as an option.

(2) 「本番環境に push しますか?」と聞かれるので、「確認」リンクをクリックする。



(3) [公開ステータス] が「本番環境」に変わったことを確認する。



(4)設定は以上なので、右上の Google アカウントのアイコン（本図では青い丸）からログアウトしてもよい。このまま Gmail 等を使うのであればログアウトする必要はない。

The screenshot shows the Google Cloud console interface. At the top, there's a navigation bar with 'Google Cloud', 'My Project 74700', and a search bar. The main content area is divided into two columns. The left column, titled 'API とサービス', contains a list of items: '有効な API とサービス', 'ライブラリ', '認証情報', 'OAuth 同意画面' (highlighted), and 'ページの使用に関する契約'. The right column, titled 'OAuth 同意画面', displays details for the 'Gsenderプラグイン'. It includes a link to 'アプリを編集', a '確認ステータス' section stating '検証は不要です', and a note about the app's review status. On the right side of the console, a user profile card is shown for a Gmail account, featuring a blue circular profile picture, the email address '@gmail.com', a 'プライバシー' (Privacy) link, and a 'Google アカウント' button. Below the profile card are 'アカウントを追加' and 'ログアウト' buttons.

6. メールテンプレートアプリの作成

メールのテンプレートを作成するためのアプリを以下の仕様で作ってください。フィールド名やフィールドコードは任意の文字列で構いません。ただし、フィールドコードは Gsender プラグインの設定画面でセットしますので分かり易い名前にしてください。

フィールド名	フィールドコード	カテゴリー	用途
テンプレート名	テンプレート名	文字列（1行）	識別用。メール送信アプリのドロップダウンメニューに自動でセットされます。
状態	状態	ラジオボタン	有効のテンプレートだけが上記ドロップダウンにセットされます。
表示順	表示順	数値	ドロップダウンに表示する順番
タイトル	タイトル	文字列（1行）	メールのタイトル
本文	本文	文字列（複数行）	メールの本文

- 送信アプリのフィールドコードを「%」で囲むと、送信アプリのフィールドの内容を差し込めます。（例：%顧客名%）
- 「%」そのものを表示させたいときは「%%」と書いてください。

[4] メールテンプレートアプリに関する設定

「6. メールテンプレートアプリの作成」で作成した、メールテンプレートアプリに関する情報を以下のように設定します。ボタンをクリックすると追加できます。「アプリ ID」は実際の番号としてください。

3. メールテンプレートアプリ

アプリID *	<input type="text" value="523"/>	
テンプレート名の保存先 *	<input type="text" value="テンプレート名"/>	フィールドコードを入力してください
メールタイトルの保存先 *	<input type="text" value="タイトル"/>	フィールドコードを入力してください
メール本文の保存先 *	<input type="text" value="本文"/>	フィールドコードを入力してください
テンプレートの状態の保存先 *	<input type="text" value="状態"/>	フィールドコードを入力してください
テンプレートの状態が有効な場合 *	<input type="text" value="有効"/>	テンプレートの状態が有効な場合の値を入力してください
テンプレートの表示順の保存先 *	<input type="text" value="表示順"/>	フィールドコードを入力してください

[5] 添付ファイルを保存してあるフィールドを指定

添付ファイルは2種類あります。ひとつは、各宛先に同じファイルを添付する場合（A:同一ファイル型）と、宛先ごとに異なるファイルを添付する場合（B:個別ファイル型）です。

A型はテンプレートアプリにファイルを保存しておき、B型は送信元アプリにファイルを保存します。その保存してあるフィールドのフィールドコードを指定してください。

●添付ファイルのありかを指定

A:同一ファイル型

テンプレートアプリに添付ファイルを保存するときのフィールド。フィールドコードを入力してください。

B:個別ファイル型

「添付ファイルは送信元アプリの各レコードに保存する」ことになります。そこで、送信元アプリの「添付ファイルフィールド（※）」をテンプレートアプリに教えてあげないといけません。では、テンプレートアプリの「何というフィールド」に「※」を保存するのか、そのフィールドのフィールドコードを入力してください。

[6]ライセンスコード

実用版ではライセンスコードが必要です。弊社から提供されたライセンスコードを保存してください。

4. ライセンスコード

実用版ではライセンスコードが必要です。

[7]設定を保存する

設定した内容は「保存」ボタンをクリックして保存してください。

保存

- ✓ メールテンプレートアプリや添付ファイルのフィールドコードを変更した場合は、設定画面で再設定の上、保存し直してください。

8. メールの送信準備 |

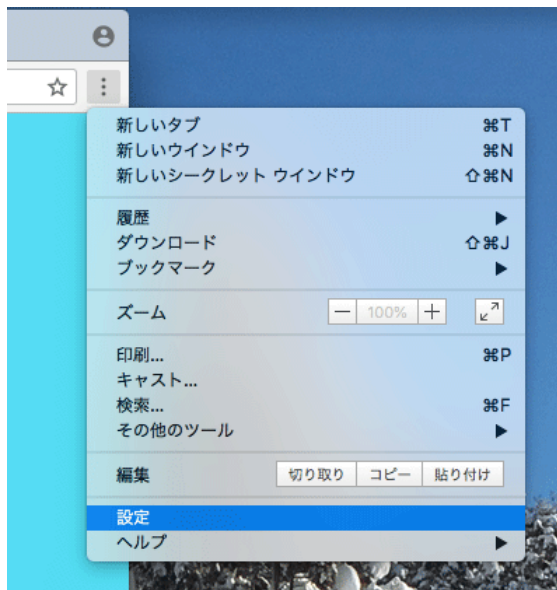
Web ブラウザで、ポップアップを許可する。

Gsender プラグインを使って、初めてメールを送信する時にポップアップ画面での操作が必要となります。デフォルトではポップアップ画面が開かないため、最初のメール送信時の操作がわかりにくくなってしまいます。そこで、kintone から初めてメールを送信する時にポップアップ画面が開くように web ブラウザを設定します。

以下では、あなたが利用している kintone の URL が <https://example.cybozu.com> であるとして説明します。

[1]Google Chrome の場合

①メニューアイコン  → 「設定」を選択



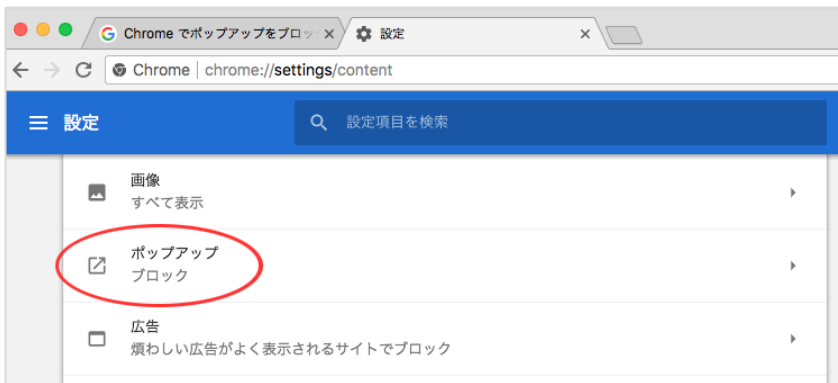
② ページ最下部の「詳細設定」をクリック



③ 「コンテンツの設定」をクリック



④ 「ポップアップ」をクリック



⑤ <ブロック (推奨)> となっていることを確認。→ <許可> の項で「追加」をクリック



⑥ 「example.cybozu.com」と入力し、「追加」をクリック



Google Chrome の設定は以上です。

[2]Mozilla Firefox の場合

① ≡アイコン → 「設定」 をクリック



② 「ポップアップウィンドウをブロックする」にチェックが入っていることを確認 → 「許可サイト」をクリック



- ③ [https://example.cybozu.com] と入力 → 「許可」をクリック



- ④ 「変更を保存」をクリック



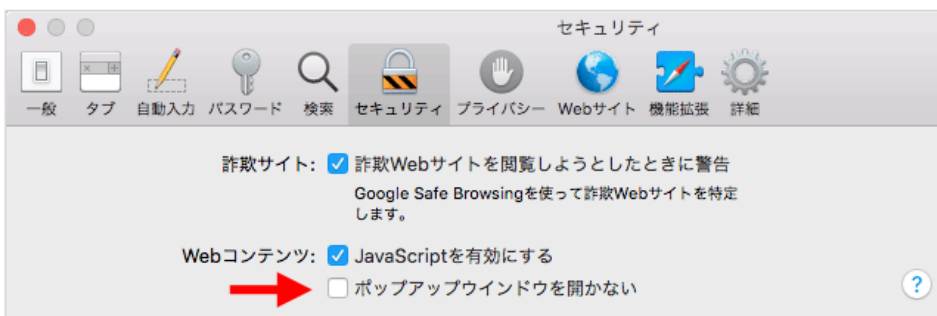
Mozilla Firefox の設定は以上です。

[3]Apple Safari の場合

① 「Safari」 → 「環境設定...」と選択します。



② 「セキュリティ」タブで「ポップアップウィンドウを開かない」のチェックをはずします。



③設定窓を閉じます。

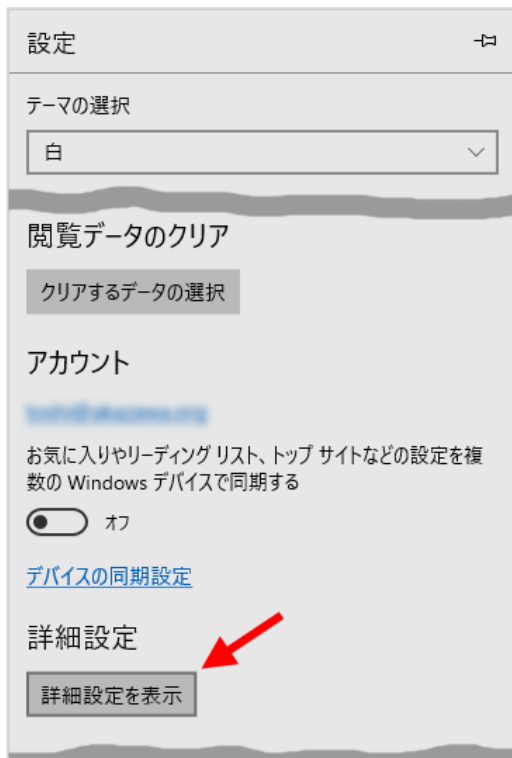
Gsender で初めてのメールを送信した後は、②「ポップアップウィンドウを開かない」にチェックを入れても大丈夫です。

[4]Microsoft Edge の場合

①メニューボタン「…」→「設定」を選択してください。



②「詳細設定を表示」をクリックしてください。



③ 「ポップアップをブロックする」の項を「オフ」にしてください。



設定は以上です。

Gsender で初めてメールを送信した後は、「ポップアップをブロックする」を「オン」に戻しても大丈夫です。

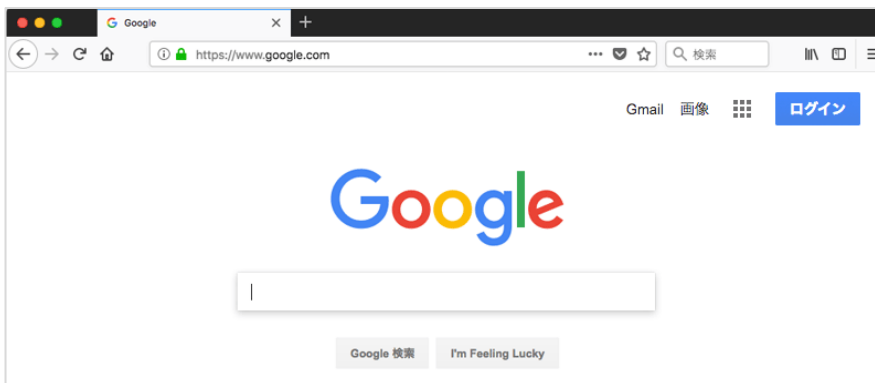
9. メールの送信準備 2

Gmail（または Google Workspace）にログインする。

Gsender プラグインでメールを送信するにあたり、送信元メールアドレスにしたい Gmail アカウントにて、web ブラウザにログインしてください。クライアント ID を取得したときの Gmail アカウントでなくても大丈夫です。

【手順】

① <https://www.google.com> にアクセスし、「ログイン」をクリックします。



② Gmail アドレスを入力 → 「次へ」 → Gmail のパスワードを入力 → 「次へ」をクリック。



これで、お使いの Gmail アカウントへのログインが完了します。

✓ 二要素認証を設定している場合は、これとは異なる手順となります。この場合 Google の公式ドキュメントを参照してください。

10. メールの送信方法

Gsender プラグインは、kintone から Gmail（または Google Workspace）に対し「メールの送信依頼」を行うためのプラグインです。実際にメールを送信するかどうかは、Gmail 側が判定します。

Gmail 側は「不正なメール（迷惑メールなど）の送信依頼は拒否したい」と考えています。このため、Gmail は、「メールの送信依頼があった場合、本当に送信していいかどうか、Gmail アカウントの持ち主に確認する」というように動作します。

メール送信のたびに毎回確認するわけではなく、ひとたび Gmail アカウントの持ち主が「OK」を出せば、以後 60 分間（2023 年 5 月時点。時間は変わることがあります）は自動的に送信可とみなされます。

[1] 一覧画面または詳細画面からの送信（初回以外の送信）

(1) kintone にログインし、Gsender プラグインを追加したアプリ（すなわちメールを送信したいアプリ）の一覧画面または詳細画面を表示してください。

【一覧画面】の例



組織選択	グループ選択	担当者	案件内容	作成日時	顧客メールアドレス	flower	wild	many	
本部	Everyone	Toshi Aka	あああああああああ...	2018-03-04 13:50	*****@*****	ヒマワリ	オオカミ	sample1 sample3 sample4	
本部	くらやみ	府中花子	." /A=?!:" "a" "b" ラン...	2018-01-24 16:02	*****@*****	コスモス	クマ		

一覧画面では、画面に表示されているレコードの（プラグイン設定で指定した）メールアドレス宛に一斉にメールを送信できます。kintone の一覧絞り込み機能を使うと、絞り込んだ宛先に一斉にメールを送信できます。ただし「4. 重要事項 > [3] 評価版と実用版」に記載の最大数が**送信上限数**です。絞り込み機能で宛先が上限数以内となるように調整してください。

上の上限数の範囲で、一覧画面が複数ページに渡る場合でも、**Gsender 実用版**では一度の送信操作により、全ページのレコードが送信対象となります。



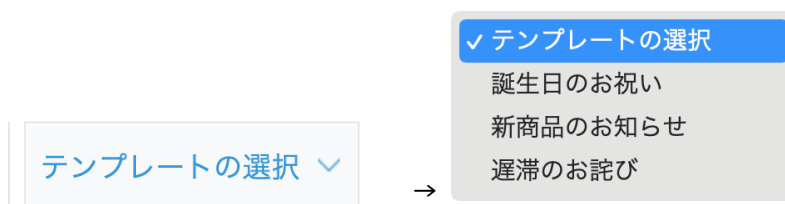
Gsender 評価版ではページごとに（左図の>や<アイコンでページを変えて）一斉送信操作を繰り返してください。

【詳細画面】の例

詳細画面では、画面に表示されているレコード1件について、（プラグイン設定で指定した）メールアドレス宛にメールを送信できます。

顧客メールアドレス	案件名	案件内容
[Redacted]	納品について	ああ
送信日時	flower	animals
2018-03-02 13:30	ヒマワリ	ネコ ニワトリ

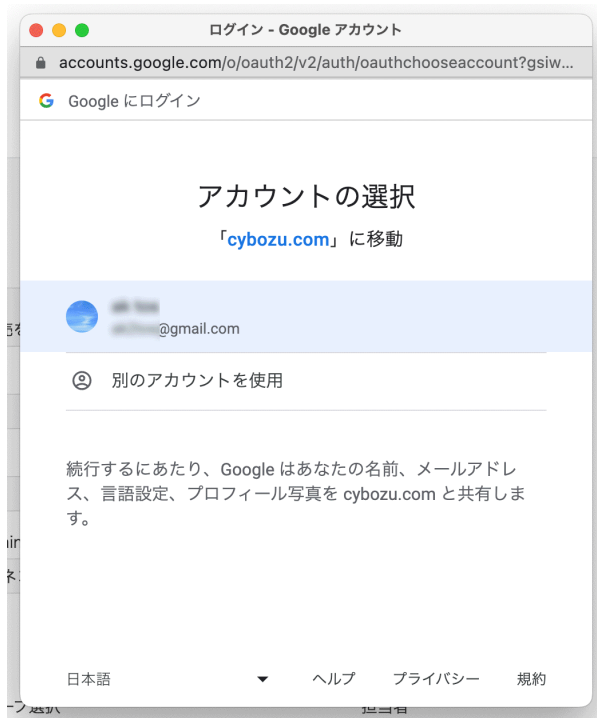
(2) 「テンプレートの選択」ドロップダウンから、利用するテンプレートを選択してください。



(3) 「Gmail から送信」 ボタンをクリックしてください。



(4) 「アカウントの選択」画面が表示された場合は、これからメールを送信するときの送信元となるアカウントを選択してください。（2023年5月時点では60分に一度はこの操作が必要です）



(5) 本当に送信してよいかどうか確認画面が表示されますので、送信する場合は「OK」をクリックしてください。（初回送信時の挙動については[2]を確認してください）



(6)送信完了の窓が表示されるまで**待ってください**。(送信には時間がかかります)

web ブラウザで別の画面に移動したり、web ブラウザ終了させたりするとメールの送信が一部できなくなります。



✓ 実際に送信できたかどうかは、Gmailの「送信済み」一覧で確認できます。

[2]初めて Gsender でメールを送信する場合の操作

(1) [1]の(4)で Gmail アカウントを選択した後に、更に以下のような表示に代わります。

「詳細」 → 「cybozu.com (安全ではないページ) に移動」をクリックしてください。



(2) 「ユーザー本人に代わってメールを送信です」にチェック → 「続行」をクリック。



メール送信の確認窓が表示されます。「OK」ボタンをクリックするとメールが送信されます。



11. よくある質問

[1] 機能

メールの送信数に制限はありますか。

Gsender プラグインは、Gmail や Google Workspace にメール送信を依頼する形でメールを送信しています。このため、Gmail や Google Workspace のメール送信数に関する利用制限が摘要されます。

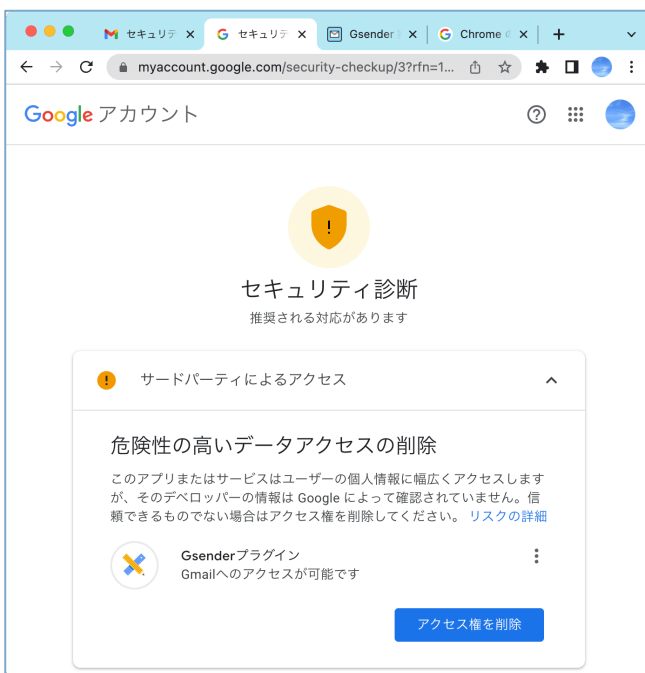
Gmail の利用制限については <https://support.google.com/mail/answer/22839> を参照してください。（URL は変わることがあります）

Google Workspace の利用制限については <https://support.google.com/a/answer/166852> を参照してください。（URL は変わることがあります）

Gmail(または Google Workspace) の「セキュリティ診断」で「危険性の高いデータのアクセスの削除」が表示されます。これは削除してよいですか。

削除してはいけません。

例えば、図のように「Gsender プラグイン」という名前が表示されている場合、次の場所の名前と比較してください。



● 「5. クライアント ID の取得方法」
→ 「[4] 認証情報の作成」→ (3) の「アプリ名」で入力した名前（本マニュアル p15）

「アプリ名」に「Gsender プラグイン」とあなたが書いたのであれば、あなた自身が「kintone から Gmail (Google Workspace) へメール送信を許可している」ことの現れですので、「アクセス権の削除」はしないでください。削除すると、Gsender プラグインを利用してメールを送信するとき

に、再び、アクセスの許可を求めるダイアログボックスが表示されるようになります。

どの web ブラウザで利用できますか。

kintone の動作環境 (<https://www.cybozu.com/jp/service/requirements.html>) に記載されている web ブラウザのうち、**PC 版のもの**をご利用ください。

スマートフォンの kintone アプリで利用できますか。

残念ながら、スマホ用 kintone アプリではご利用になれません。送信時に認証を行う際に web ブラウザのしくみを使いますのでご了承ください。

評価版プラグインの利用にあたりサポートしてもらえますか。

恐れ入りますが、評価版は無償提供のため無償でのサポートはいたしかねます。本マニュアルをご覧くださいご対応をお願いいたします。

必要であれば有償で対応いたしますので、お問い合わせよりご依頼ください。

同じ内容のメールを再送信できませんでした。バグがあるのではなでしょうか。

全く同一の内容を短時間で再送信することは、Gmail や Google Workspace の方で拒否している模様です。少し時間を空けていただくか、内容を少し変更して再送信をお願いします。

[2] 注文

請求書を発行してくれますか。その後、銀行振込で購入できますか。

お問い合わせページからご依頼ください。ただし、以下の点についてご了承をお願いいたします。

- お客様が法人または事業性個人（税務署に開業届を提出済みのこと）であること。
- お客様より発注書を弊社宛に発行してください。
- 弊社からの請求書は PDF 版をメールで送信いたします。郵送や FAX 送信には対応しておりません。

[3] 利用規約関連

Gsender プラグインを1個購入しました。複数のアプリに追加して使っていいですか。

はい、複数のアプリに追加しご利用いただいて問題ありません。

ただし、https://xxxxx.cybozu.com/ の サブドメイン名「xxxxx」ごとに、Gsender プラグイン（有償版）を 1 個ご購入ください。1 個の Gsender プラグインを複数のサブドメイン名で利用しないでください。

Gsender プラグインを 1 個 購入しました。複数の kintone サイト（異なるサブドメイン名）で使っていますか。

恐れ入りますが、1 個の Gsender プラグインは、1 個の kintone サイトでのみご利用になります。ご利用になれる kintone サイトごとに Gsender プラグインをお買い求めください。

Gsender プラグインはもう利用しません。他の人に譲ってもいいでしょうか。

恐れ入りますが、有償／無償に拘わらず、他の人への譲渡はご遠慮ください。Gsender プラグインを使われない方には、購入くださるようご伝言をお願いいたします。

Gsender プラグインを購入しましたが、目的と違っていましたので使いません。返金して欲しいのですが。

プラグインをひとたびダウンロードされると、その後のプラグインのお取り扱いはおお客様の自由になってしまい、本当に利用されないのかどうかの把握できません。このため恐れ入りますが、返金に応じることは致しかねます。

このようなことを防ぐ意味で、Gsender プラグイン（評価版）を無償で用意しております。有償版（実用版）のご購入前に評価版にて十分な検証をお願いいたします。

[4] サポート

クライアント ID の取得の仕方がわかりません。サポートしてもらえますか。

有償となりますが対応いたします。お問い合わせページよりご依頼ください。

画面操作が必要となりますので、オンライン会議ができるよう環境を整えてください。

kintone のアップデートに対応して、プラグインを無償でアップデートしてくれますか。

kintone のアップデートによりプラグインに不具合が発生した場合は、無償でアップデート対応を行う予定です。ただし、kintone のアップデートの内容によっては、プラグインの大規模な改修が必要となるかもしれません。大規模改修の場合は有償での対応とさせていただきます。また改修に日数を要する場合がありますことを予めご了承ください。

Gmail や Google Workspace の仕様変更により、プラグインが使いえなくなることがあります。また無償でアップデート対応してもらえません。

Gmail や Google Workspace の仕様変更によりプラグインが使いえなくなることがあります。この場合、原則として無償でアップデート対応を行う予定です。ただし、プラグインに大規模な改修が必要となった場合は、有償での対応とならざるを得ないことも予想されます。また、プラグインの改修には日数を要する場合がありますので予めご了承ください。

Gmail や Google Workspace のサポートをして欲しいのですが。

内容によっては対応できるかもしれません。相談は無料でさせていただきます。調査や作業を行う場合は有料となります。弊社サイトのお問合せページよりお尋ねください。

kintone の利用についてサポートしてもらえますか。

サポート契約を締結させていただく形であれば対応いたします。弊社サイトのお問合せページよりご依頼ください。

[5]その他

送信したメールが相手先で迷惑メール扱いになっています。どうしたらよいでしょうか。

ご質問内容は本プラグインと直接的な関係がありません。ご利用のドメイン名と DNS とメール送信を取り巻く技術的要素と、受信側での迷惑メール判定方法に依存します。必要に応じてそれぞれの関係者にお問合せください。

一般的には、ご利用のドメイン名を管理している DNS に SPF や DKIM を必要に応じて設定したり、メールのタイトルや本文の内容を工夫するなどの対応が必要と思います。

以上。